

公益財団法人立石科学技術振興財団
2019年度（平成31年度）事業計画

2019年（平成31年）4月1日から2020年（平成32年）3月31日まで

事業の概要

1. 助成事業

(1) 研究助成(A)	1件	2,500千円以下	
		小計	94,500千円

エレクトロニクス及び情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進するための研究を行うものに対し助成する。

(2) 研究助成(B)	1件	5,000千円以下	
		小計	10,000千円

エレクトロニクス及び情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進するための研究を行うものに対し助成する。

(3) 研究助成(C)	1件	500千円/年以下(1年、2年または3年)	
		小計	10,000千円

エレクトロニクス及び情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進するための研究を行う博士課程後期(または相当)の学生に対し助成する。

【研究助成費 小計 (1)から(3)までの計 114,500千円】

(4) 国際交流助成	1件	700千円以下	
		小計	6,000千円

エレクトロニクス及び情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進するための国際交流（国際会議発表、短期在外研究）を行うものに対し助成する。なお、国際交流助成は、前期と後期の2回に分けて実施する。

(5) 国際会議開催助成	1件	1,000千円以下	
		小計	15,000千円

エレクトロニクス及び情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進するための国際会議等開催に対し助成する。

【国際交流助成費 小計 (4)(5)の計 21,000千円】

(6) 研究助成(S)	1件	30,000千円以下	
		小計	60,000千円

エレクトロニクス及び情報工学の分野で、「人間と機械の融和」のあるべき姿を想定または提示し、統合技術およびプロトタイプの開発と機能検証、さらに可能ならば実証実験を目標とする研究プロジェクトに対し助成する。

【助成費 小計 (1)から(6)までの計 195,500千円】

(7) 立石賞顕彰(隔年実施 次回 2020 年) 1 件 5,000 千円

小計 ー 円

エレクトロニクス及び情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進した研究者を顕彰する。

【助成費 小計 (1)から(7)までの計 195,500 千円】

(前年度予算 219,000 千円より 23,500 千円減額)

2. 助成事業運営費

助成事業のための運営費 小計 33,350 千円
(前年度予算 33,600 千円より 250 千円減額)

3. 研究成果普及事業

助成研究成果集第 28 号の発行費 小計 3,350 千円
(前年度予算 3,400 千円より 50 千円減額)

財団の助成対象となった研究課題の成果を、多くの研究者、研究機関と共有することを目的とすると共に、研究者の相互交流の一助となることを願って発行する。

事業費合計 232,200 千円
(前年度予算 256,000 千円より 23,800 千円減額)

以上